

3 - 3 三浦半島の水準測量と傾斜測定

Levelling and Tilting Surveys in Miura Peninsula

国土地理院 地殻活動調査室
Crustal Activity Research Office,
Geographical Survey Institute

三浦半島の水準測量が1971年11月に終了したので、この結果を報告する。

三浦半島の上下変動は、これまで同半島南部が関東大地震後、沈下を続けていた状態から最近や、隆起の傾向を示すことが報告されている^{1), 2)}。

第1図は、昨年11月に実施した一等水準測量の値を用いた最近の三浦半島の上下変動を示したものである。横浜周辺(基25)を不動と仮定した場合、相対的に三浦半島南部は隆起の傾向を示す。

第2図はこれらの値を用いて、1cm単位の変動図を1年間隔と約2年間隔で作成した図である。この結果を見ても三浦半島南端は依然として隆起の傾向を示すことがわかる。

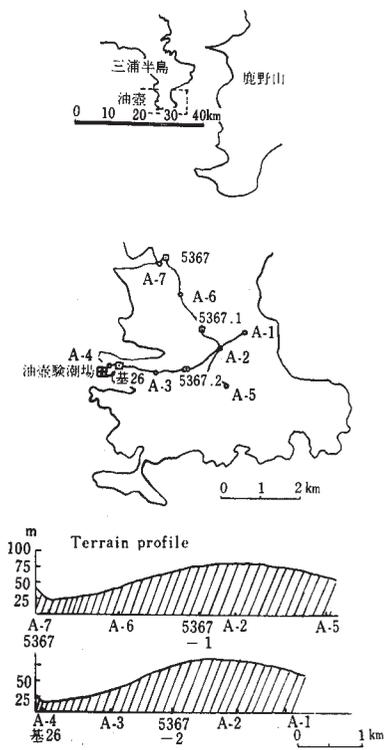
油壺付近の傾斜測定についても既に報告されているが¹⁾、46年(1971)3月と9月に観測が行なわれたので、経年変動を理解しやすくするために各測量時期の結果の差を用いて傾斜変動を求めたのが第4図(a)で基26を不動と仮定した油壺周辺の位置的に相対的な動きを示している。

第4図(b)は、各水準点の傾斜変動の経年変化を図示したものであり、第4図(a)と同様に基26を不動と仮定した時間的に相対的な動きを示す。

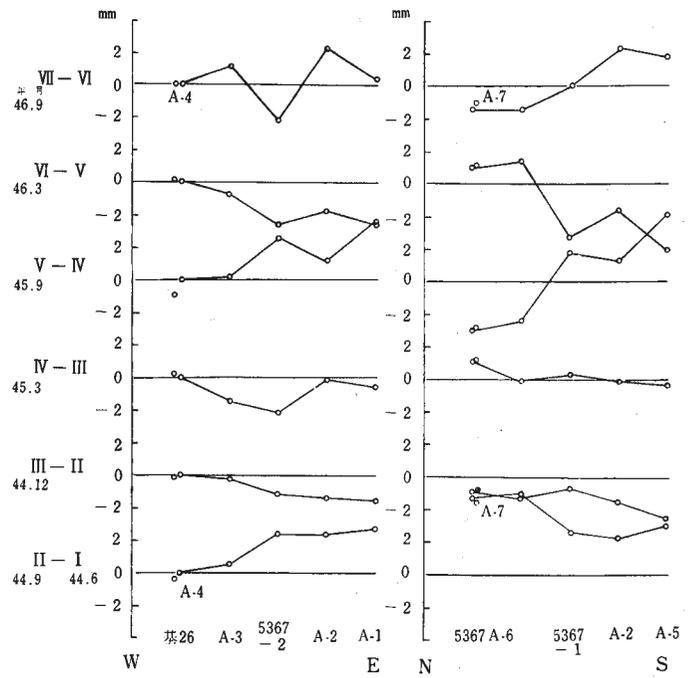
これらの図から、各点とも上下変動に年周変化らしいものが見られる。とくに水準路線の北側の3点、5367、A-7、A-6の上下変動の年周変化は、他の点と逆位相に近い動きをしているようであり、今後更に検討を要する。

参 考 文 献

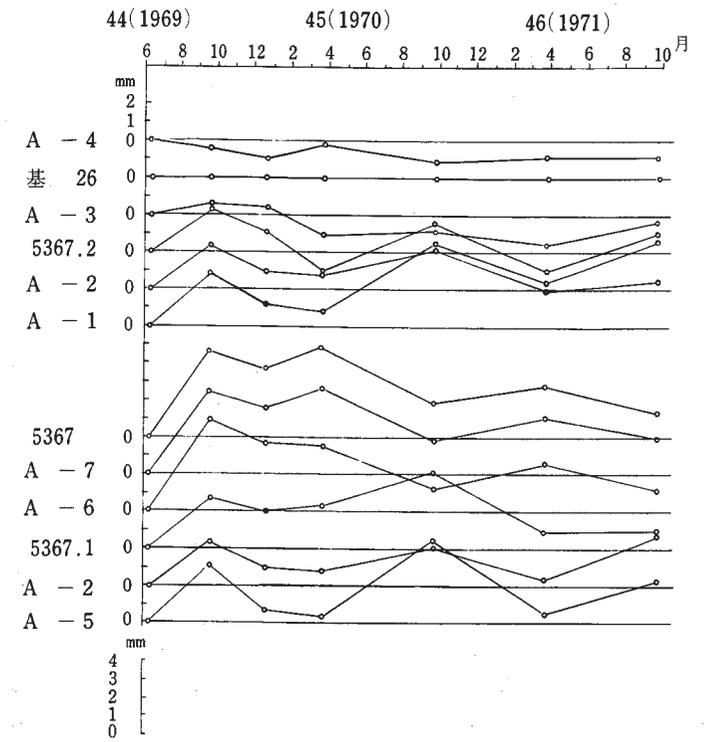
- 1) 房総三浦半島地域における地殻活動状況, 国土地理院地殻活動調査室
地震予知連絡会会報第1巻 P.25 ~ 33
- 2) 三浦半島の最近の上下変動, 国土地理院地殻活動調査室
地震予知連絡会会報第5巻 P.28 ~ 30
- 3) 三浦半島における水準測量による傾斜測定(1) 国土地理院測地部
地震予知連絡会会報第6巻 P.53 ~ 55



第3図 水準路線
Fig. 3 Levelling routes



第4図 - a 油壺付近傾斜測定
Fig. 4-a Spatially tilting motion around Aburatsubo



第4図 - b 油壺付近水準点経緯變動
Fig. 4-b Secular changes of vertical movements Aburatsubo